



## サーキュラーエコノミー普及促進事業 産学官連携プロジェクトを始動

サーキュラーエコノミー普及促進事業を強化し、効果的に早期の全市展開を図るため、産学官連携プロジェクトを始動しました。令和6年4月からの活動を通じて、市原市ならではの産業教育を実現し、臨海部企業とともに市原発サーキュラーエコノミーを創出するとともに、その概念が普及した社会で活躍できる人材の育成につなげてまいります。

### 1 活動概要

サーキュラーエコノミーを「日常の中の当たり前」として定着させるため、①学校教育と②リサイクルの体感の2つの軸で、啓発活動を推進します。

#### ① 学校教育 【産学官連携サーキュラーエコノミー教育】

サーキュラーエコノミーの重要性について、石油・石油化学産業の現状からサーキュラーエコノミーまで体系的に学習することで、効果的に理解の定着が図れるよう、本市が作成し、小中学校で使用中の教材の改訂内容を検討します。

#### ② リサイクルの体感 【リバースゼロプロジェクト】

学校現場で生じた使用済みプラスチックをコンビナート企業と連携してアップサイクルし、再生品を各校へ配布する等、日常生活に溶け込んだサーキュラーエコノミーの体感機会を創出するための検討を進めます。

「リバースゼロ」とは、次表の意味を含めたプロジェクト名称です。

～リバース～	
Re:berth	物の流れを逆転させ、 (再びコンビナート(港湾)へ)
Reverse	社会の消費構造の逆転し、 (供給者と消費者の立場を逆転)
Rebirth	使用済み材の再資源化を推進 (化学の力で価値ある製品へ再生)

～ゼロ～	
カーボン ニュートラル	プラを燃やさず、CO2ゼロへ
サーキュラー エコノミー	プラを捨てずに、ゴミゼロへ

### 2 参加者 (企業名は50音順)

出光興産(株) 千葉事業所、住友化学(株) 千葉工場、デンカ(株) 千葉工場、  
丸善石油化学(株) 千葉工場、三井化学(株) 市原工場  
市原市、市原市教育委員会

### 3 今後の取組について

3月25日 キックオフミーティングを開催

4月下旬 令和6年度 第1回会議予定(以降、随時開催予定)

## 【参考】サーキュラーエコノミー普及促進事業について


環境調和型ペンケース(右写真)の使用・回収・アップサイクルを一体的に体感することで、サーキュラーエコノミーへの理解促進につなげる啓発事業です。

ペンケースは、市内の間伐材と「Prasus®」<sup>1</sup>を複合材化した新素材を活用し、「リサイクルを容易にする」本市指定のデザインで制作することで、効果的な環境意識の高揚を期待しています。

また、令和 5 年度は関連セミナーや工場見学を実施し、中学生がコンビナートを身近に感じながらサーキュラーエコノミーを学べる機会を創出しました。



---

<sup>1</sup> 三井化学グループの株式会社プライムポリマーが製造販売するマスバランス方式のバイオマス PP(ポリプロピレン)「Prasus®」  **Prasus®**